

# 市長と語る未来創造まちづくり座談会結果報告



## ●開催日等

日時 2月16日(木) 18時～20時  
会場 於福公民館大会議室

## ●出席者

市：市長、副市長、部長級職員、事務局(地域情報課)  
参加者：141名

## ●提案内容

**【提案】** ジオパーク構想について、友好交流都市の今までの交流実績と今後について (男性)

**【回答】** 美祢市において、ラムサール条約に登録されている秋吉台地下水系及び特別天然記念物である秋芳洞、国定公園である秋吉台をしっかりと保護することに加え、市全域の地質資源を守り育て、活かすために世界ジオパークの認定を目指すことにしています。このジオパーク認定は、本市の観光振興を図る上において、今後大きな役割を果たし、まさにネットワークづくりの大きな核になると考えます。

「交流拠点都市」の創生を目的に交流人口の拡大の取り組みを進めるなかで、豊かな観光資源を有する美祢市において、観光客のさらなる誘致活動は非常に重要であり、特にアジア時代による外客誘致の更なる取り組み強化が必要であると考えます。そこで交流関係のある台湾の台北事務所を通じて、南投県との友好交流に関し、李南投県長と相互連携を深めることを積極的に進めることを確認した「友好交流の促進に関する確認書」の調印を行いました。

今後は、観光面を中心とした経済交流活動、また市の次世代を担う若者たちの両国の交流活動を通じた人材交流を進め、市の活性化につなげたいと考えます。

(市長)

**【提案】** 美祢のさくらをもっとPRしてほしい。また、河川の中の草刈りなどして景観整備できないか。 (男性)

**【回答】** 美祢のさくらは県内でも有数な名所であると考えます。河川敷は地元の方、市職員で草刈り整備を行っています。河川の中は県土木の管理になるので、強く県に要望したいと考えます。

(市長)

**【提案】** 於福から田代へ向かう県道について、木の枝が垂れ下がって観光バス等の邪魔になるので、伐採整備していただきたい。 (男性)

**【回答】** 県土木に、木の枝の伐採、整備を強く要望していきたいと考えます。 (市長)

**【提案】** 観光立市としてのこれからの取り組みについて、どのようなご計画かお聞かせください。 (男性)

**【回答】** 美祢市では、平成23年3月に策定した美祢市総合観光振興計画の基本理念である「観光立市をめざす おもてなしのまち」の実現に向けた取り組みを進めています。

市内には、秋芳洞・秋吉台以外にも各地域に優れた観光名所、歴史ある町並み、多くの地域資源に恵まれていることから、これらを活用し、全国、海外にも美祢市の魅力を発信し、市内全域に観光客を周遊させ、市全体の観光振興を図っていく考えです。

それぞれの地域の特性を活かした観光振興の取り組みをベースに、平成24年度は、日本ジオパークの認定に向けた取り組みを具体化することとしています。そのためには、市民の皆様の協力が不可欠であり、皆様と協働し、美祢市の魅力を発信し、市内を訪れる方の増加を図り、「また美祢市に来たい。」と提供いただけるような市民協働によるまちづくりを推進し、最終的には世界ジオパークの登録を目指したいと考えます。

(市長)

**【提案】** ふるさと応援未来創造交付金事業について、多くの人、団体に周知徹底していただきたい。また、その事業効果を発表できるような場を設けていただきたい。 (男性)

**【回答】** ふるさと応援未来創造交付金は、地域の皆様が共有した認識のもと地域の課題解消に向けた取り組みを行うもので、これにより地域力を育て活力あるふるさとづくりの基盤となることを期待しています。この交付金事業をより多くの市民の方に知っていただくため、周知徹底していきたいと考えます。そこで平成24年度から「市報」をカラー印刷にし、月2回の発行を月1回とする予定ですが、市報でも周知を図ることとします。\*

また、交付金事業を行った地域の活動を市全体に広めるため、各種イベントで発表出来るような場を設けられるように検討したいと思います。 (市長)

\*平成24年度からの実施が決定しています。

## 【提案】

下水道の普及について（農業集落排水も含む於福地区の計画と財政について）

美東地域には、グラウンド・ゴルフ場が整備されているが、美祢地域には整備されていない。平成28年度から国体の正式種目にもなると聞いている。競技人口も増えているので、美祢地域に公認コースを整備していただけないか、旧大嶺高等学校跡地を利用してはどうか。（男性）

## 【回答】

美祢市公共下水道事業は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全をめざして、整備を進めています。平成元年度に供用を開始して以来平成22年度末現在で、普及率34.0%、水洗化率89.8%となっています。現在では、事業の大規模な拡張計画はなく、施設管路等の適正な維持管理に努めています。農業集落排水事業は、美祢市内で4地区が整備されています。（河原、別府、大田、豊田前地区）

於福地区の水道整備計画については、現在、3年計画（平成23年度～平成25年度）で無給水地域解消事業として上水道との接続工事を先に実施しています。

下水道または農業集落排水の整備について、市民の皆様の良好な生活環境を確保するとともに、河川や農業用水の水質の保全を図るため、公共下水道事業や農業集落排水等に取り組むとともに、合併処理浄化槽の設置に対する補助制度に取り組んでいるところです。今後も財政面を考慮し、地域に適した効率的な手法により整備を進めていきます。

グラウンド・ゴルフは、ルールも簡単なことから子どもから高齢者まで誰もがすぐに取り組むことができ、全国に広く普及しています。また、グラウンド・ゴルフは、規格化されたコースを必要としません。プレーヤーの目的、環境、技能などに応じて、運動場や公園などでも自由にコースが設定できます。

美祢市においては、平成20年4月、美祢グラウンド・ゴルフ協会が設立され、美祢支部、美東支部で合計284人の方が登録され、学校の運動場や公民館の広場等で活動されています。秋芳地域においても今後協会に加入されると聞いています。

グラウンド・ゴルフ場の認定コースは、県内に4箇所あり、そのうち「秋吉台リフレッシュパーク」のグラウンド・ゴルフ場が、「秋吉台グラウンド・ゴルフ場」として、認定されています。このゴルフ場には、大正洞コース、景清洞コースがあり、平成22年度において、延べ4,259人の方が利用され、来年度には、8ホール2コースを増設予定です。

市民の皆様には、大会等で、この認定コースをご利用いただければと考えています。

また、新たなグラウンド・ゴルフ場の整備について、旧大嶺高等学校跡地を利用してはどうかとのことですが、県が所有管理しているため、県と十分協議し、今後の検討課題とさせていただきます。（市長）



問合せ先 地域情報課 ☎0837(52)1128

## 市内の文化財紹介 ⑫ 長登のシダレザクラ

（美東町長登・市指定天然記念物昭和62年指定）

この木は、目通り幹囲1.65メートル、高さ9メートルあります。シダレザクラ特有の垂れ下がる枝が傘状に伸び、綺麗な樹形をしています。開花時期は年によって若干差がありますが、3月末頃から4月上旬頃にかけて淡紅色の小さな花を多く咲かせます。近年、風雪で一部の大枝が折れて少し樹形が変わりましたが、多くの桜愛好者に親しまれています。

シダレザクラは、バラ科サクラ属の落葉高木で、高さ20メートル、直径1メートル以上に達します。枝は横に開出し、小枝は垂直に下垂します。花の色は白または淡紅色。エドヒガンから出来た園芸品で、野生は無いとされています。



問合せ先 文化財保護課 ☎0837(53)0189